

臨床薬理学集中講座

受講者募集

開催日時 開催方法

- 臨床薬理学関連の講義ビデオ視聴(オンデマンド)
2026年7月初旬～8月中旬(予定)
- 第1回WEB会(Zoom)
2026年7月29日(水) 18:30～20:30
- 第2回WEB会(Zoom)
2026年8月6日(木) 18:30～21:00
- 臨床試験企画立案演習(Zoom)
2026年8月30日(日) 8:45～18:00

対象

45歳以下の医師 及び 40歳以下の薬剤師等

講義ビデオの視聴及びWEB会、臨床試験企画立案演習のすべてに参加できる方
(企業に所属する方は対象外)

定員

40名程度(応募者多数の場合は選考になります)

受講料

無料(WEB接続による通信費を除く)

会議室等を借りて受講した場合の費用は受講者負担となります

ー カリキュラム ー

● 講義ビデオ視聴

1. 臨床薬理学とは
2. 臨床試験デザイン
3. 研究倫理
4. 生物統計学(基礎編)
5. 生物統計学(実践編)
6. 薬理遺伝学
7. 医薬品有害反応
8. 薬物相互作用
9. バイオマーカー
10. 臨床薬物動態学と薬物投与設計
11. 医薬品開発・レギュラトリーサイエンス

● WEB会(受講者間のコミュニケーション構築をはかるために開催)

- ・患者同意説明文書の検討・作成・発表

● 臨床試験企画立案演習

午前の部

- ・開講宣言、開講式、ガイダンス、財団理事長挨拶
- ・臨床試験企画立案演習事前説明
- ・臨床試験企画立案演習(課題の検討)

午後の部

- ・臨床試験企画立案演習(発表・討議)
- ・閉講式、閉講宣言

募集期間

2026年3月23日(月)9:00～4月17日(金)17:00

※詳細は募集要項をご覧ください。



公益財団法人 臨床薬理研究振興財団
第 10 回 (2026 年度) 臨床薬理学集中講座 募集要項

1. 開講の趣旨

医療の中で薬物療法とそれを支える臨床薬理学の重要性がますます高まっており、臨床薬理学の発展を担う人材の育成が求められています。臨床薬理学集中講座(以下、本講座)は、若手の医師及び薬剤師等が臨床薬理学を体系的・集中的に研鑽する場として、薬物療法の基本を学び、臨床試験を通じたエビデンスの創造・発信のできる医療従事者・研究者の育成を目指して開講します。

2. 応募資格

臨床薬理学に興味を持ち、体系的・集中的に学ぶことを希望し、かつ、WEB 会を含む集中講座の全日程を受講できる以下の条件を満たす者

- 1) 医師等の医学部・歯学部出身者 (45 歳以下、1981 年 4 月 2 日以降の出生者)
- 2) 薬剤師等の上記学部以外の出身者 (40 歳以下、1986 年 4 月 2 日以降の出生者)

但し、応募には所属長の推薦が必要です。(推薦人数は、1 推薦者につき 1 名とします。)
企業に所属される方の応募は、ご遠慮をお願いします。

3. 定員

40 名程度

4. 開催日時・開催方法

臨床薬理学関連の講義ビデオ視聴(オンデマンド); 2026 年 7 月初旬～8 月中旬(予定)

WEB 会 (Zoom) 第 1 回; 2026 年 7 月 29 日(水) 18:30 ～ 20:30

第 2 回; 2026 年 8 月 6 日(木) 18:30 ～ 21:00

企画立案演習 (Zoom) 2026 年 8 月 30 日(日) 8:45 ～ 18:00

5. 受講費用

無料 (WEB 接続による通信費用を除く)

会議室等を借りて受講した場合の費用は受講者負担となります。

6. 応募手続き

(1) 受講申込み

所属長の了解を得てから、下記の臨床薬理研究振興財団 WEB サイト内に設置の集中講座受講申込みフォームから、ご応募ください。

U R L: <https://www.rinyaku-fdn.or.jp>

(2) 募集期間

2026 年 3 月 23 日(月) 9:00 ～ 4 月 17 日(金) 17:00

7. カリキュラム

予定実施講座及び講師は裏面をご参照ください。

今回、集中講座の全体概要がわかるよう説明用動画を準備しましたのでご覧ください。

8. 受講者の選考方法

応募者の中から、弊財団の臨床薬理学集中講座実行委員会において、2026年5月下旬までに受講者を選考します。

9. 選考結果の通知

2026年5月末までに、メールで選考結果を連絡します。

10. 受講者の事前手続

- (1) 弊財団より受講者にメールで「受講者番号」を通知します。
- (2) 受講者は、メールに添付された「確認書」を印刷し、必要事項を記入のうえ、受講者及び推薦者の署名を得た後、PDF化して弊財団宛にメールでご返送ください。
- (3) 受講者は、メールに記載された弊財団WEBサイト内にある「事前調査フォーム」に必要事項をご入力ください。

11. 個人情報の取扱い

集中講座受講申込みに際してご記入いただきました個人情報は、弊財団の臨床薬理学集中講座、及び同フォロー事業を遂行する範囲でのみ利用します。

また、集中講座で撮影した写真等の個人情報を、弊財団の広報活動に使用いたします。

問合せ先

公益財団法人 臨床薬理研究振興財団

〒103-8234 東京都中央区日本橋 3-14-10

T E L: 03-3243-9021

F A X: 03-3243-9511

E-mail: rinyaku_jp@daiichisankyo.com

U R L: <https://www.rinyaku-fdn.or.jp>

※カリキュラム及び講師一覧は裏面をご参照ください。

第10回(2026年度)臨床薬理学集中講座カリキュラム(予定)

8月30日(日)	
午前の部	8:45~8:55 開講宣言・開講式・ガイダンス・財団理事長挨拶
	8:55~12:00 <u>臨床試験企画立案演習(班に分かれて課題の検討)</u> 乾 直輝 先生 太田 有紀 先生 木田 圭亮 先生 三邊 武彦 先生 志賀 剛 先生 肥田 典子 先生 松本 直樹 先生 (50音順)
お昼休み	お昼休み(12:00~13:00)
午後の部	13:00~15:00 <u>臨床試験企画立案演習(発表・討議)</u>
	15:00~15:10 休憩
	15:10~16:20 講師からのレクチャー 統計学に関するQ&A 講師への質疑応答
	16:20~16:40 アンケート
	16:40~17:00 各班の反省会
	17:00~17:30 集計結果発表/講評 閉講宣言/事務連絡

第10回(2026年度)臨床薬理学集中講座の講師(講義ビデオ)

(2026年3月現在)

	担当講座	所属	氏名
1	臨床薬理学とは	浜松医科大学 学長	渡邊裕司 先生
2	臨床試験デザイン	統計数理研究所・滋賀大学 特任教授	折笠秀樹 先生
3	研究倫理	東北大学大学院 文学研究科 社会学専攻分野 教授	田代志門 先生
4	生物統計学(基礎編)	情報・システム研究機構 統計数理研究所 教授	野間久史 先生
5	生物統計学(実践編)	昭和医科大学 統括研究推進センター 教授	井上永介 先生
6	薬理遺伝学	国際医療福祉大学 福岡薬学部 学部長、教授 九州大学 名誉教授	家入一郎 先生
7	医薬品有害反応	医療法人 愛正会 田尻ヶ丘病院	鶴岡秀一 先生
8	薬物相互作用	東京大学大学院薬学研究科 分子薬物動態学 教授	楠原洋之 先生
9	バイオマーカー	自治医科大学 名誉教授 山陽小野田市立山口東京理科大学 客員教授	藤村昭夫 先生
10	臨床薬物動態学と 薬物投与設計	明治薬科大学 学長	越前宏俊 先生
11	医薬品開発・ レギュラトリーサイエンス	独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 執行役員(信頼性保証等部門担当)	佐藤淳子 先生

第10回(2026年度)臨床薬理学集中講座の講師(臨床試験企画立案演習)

(2026年3月現在)

	担当講座	所属	氏名
臨床試験企画立案演習		浜松医科大学 臨床薬理学講座 教授	乾 直輝 先生
		聖マリアンナ医科大学 薬理学 講師	太田有紀 先生
		聖マリアンナ医科大学 薬理学 主任教授	木田圭亮 先生
		昭和医科大学統括研究推進センター 教授/センター長	三邊武彦 先生
		東京慈恵会医科大学 臨床薬理学講座 教授	志賀 剛 先生
		昭和医科大学 薬学部 臨床薬理研究所 教授	肥田典子 先生
		医療法人社団 桜栄会 横浜セラトピア 施設長 聖マリアンナ医科大学 薬理学 客員教授	松本直樹 先生

(50音順)

「臨床試験企画立案演習」では、上記講師ほかにファシリテーターの先生方が参画されます。